

学力調査等の状況

見えてきた課題

授業をデザインする8つの取組について	
ICT機器の活用	タブレット端末を利用し、必要な情報を収集し選択する情報リテラシー能力を育むとともに、フジヤムボード等で意見交換を行い、他者の考えに触れ自分の考えを深められる場面を増やす。
見通しをもたせる導入	学習の流れや本時の目標を提示するとともに、導入で生徒の興味・関心を高められるよう課題の提示する。
価値ある対話の共有	グループ活動や発表の機会、ICT機器の効果的活用により、生徒一人ひとりが互いの考えを共有し検討・分類・統合・関連付けし、対話的な学びの中で理解を深められるようにする。

各教科における課題を改善するための指導の重点

	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
国 語 科	思考を深め、共有するために、ICT機器を活用する。 ・伝える力を高めるために、必要な情報を整理し活用する授業を実施し、言語活用能力を育てる。 ・視覚資料を用いて、幅広く個々の習熟度や特性に応じ、多様な段階にある生徒の学びを支える。			
社 会 科	・歴史史料や地理のグラフなどを用いて、読み取り及び意見交換などを行い、深い学びにつなげていく。 ・ニュース、新聞などを利用し社会的事象に対する興味関心をもたせるようにしていく。 ・思考・判断・表現力向上のため、社会的事象に対して、既習事項と関連させて理解を深め、自分なりの考えをもてるように指導していく。			
数 学 科	ICTの活用(Navimaなど)の活用により、個々の習熟度に合わせた問題選択の機会を増やし、習得・活用・探究の学習を行っていく中で、数学科の特性に応じた見方や考え方を働かせ、思考・判断・表現を行い、その上で、深い学びを実現するために、学習場面を組み合わせ、より効果的な授業をデザインしていく。子どもが見通す・教師が教える・自	ICTや演習プリントの活用により、個々の習熟度に合わせた問題選択の時間の確保するとともに、関数や図形分野における視覚的な理解を促していく。また計算問題練習を短時間で取り組むことに加え、思考を要する問題への取り組みを増やし、特に図形分野においては、図形に親しむ感覚を養いながら多角的な見方の出来る問題を設定する場面を増やす。	ICT(Navima, Qubena, デジタル教科書など)の活用により、個々の習熟度に合わせた問題選択の機会を増やし、グラフソフトなどを用いて関数への理解を深め、感覚的な閃きを共有および論証する時間の充実を図る。習熟度に応じた表現が行える教材の活用を充実させる。また計算問題については短時間での取り組みを継続する。	探究の学習の確保し、数学科の学びを働かせ、思考・判断・表現力向上のため、社会的事象に対して、既習事項と関連させて理解を深め、自分なりの考えをもてるように指導していく。子どもが見通す・教師が教える・自分の考えを共有し、対話的な学びの中で理解を深められるようにする。
理 科	・自然の事物・現象についての理解を深め、観察・実験を行い科学的に探究する力を養うことなどを通じて、基礎的・基本的な知識・技能の確実な定着を図る。 ・実験結果や観察の共有 発表など			

科	大規模な、フロッグボード、元々なしにおいて、Chromebook等を活用し、思考力・表現力の向上を図る。		
外国語科	指導法の改善を通して、学びへの意欲を向上させ、基礎基本を確実に定着させる。また、「使える英語」に焦点をあてた4技能を軸とした自己表現活動の充実を図る。具体的には、デジタル教科書の活用、帯活動の充実、パフォーマンステストのフィードバックを効果的に行っていく。	目標・振り返りの提示、デジタル教科書、スライドを使用し導入することで、授業内容の生徒の学習意欲を高める。帯活動で会話のやりとりを充実させ、自己表現力の向上をはかる。パフォーマンステストでフォームを活用し、フィードバックを行い、一人一人の自己調整能力を育む。	スライド等を活用し導入を行い、生徒の関心を高める。帯活動を通じて会話のやりとりを充実させ、自己表現力の向上を図る。ALTとパフォーマンステストでの効果的なフィードバックを行うとともに、フォームで生徒同士で意見交換をさせ、一人一人の考えを深め自己調整能力を育む。

各教科における課題を改善するための指導の重点

	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
音楽科	<ul style="list-style-type: none"> 歌唱における基本的な技術習得のために、日々の授業に歌唱活動を積極的に取り入れる。 音楽を鑑賞し、自分の考えを文章で表現する力を身に付けさせる。 仲間と協力して、音楽を作る楽しさを感じられる授業を展開する。 			
美術科	<ul style="list-style-type: none"> 制作を通して、テーマや自分のイメージに沿って制作する技術の向上、物事を計画的に進める力を身に付ける。 美術品や制作した作品の鑑賞を通し、自分の考えを言葉で表現する力を身に付ける。また、友達の作品の技術やアイデアの良さに気づき、制作過程の反省や次への意欲へとつなげる。 			
保健体育科	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的、基本的な技能を定着、向上させるために個に応じた指導法を展開する。 心身の健康保持増進のため、長距離走等を計画的、継続的に取り入れるとともに、体力テスト等の結果を活かし、保健体育の授業の充実を図り、体力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的、基本的な技能の定着を図りながら規律を確認し、個に応じた指導を行う。 種目や保健の内容に応じICT機器を活用し、振り返りや意見交換に活かす。 心身の健康保持増進のため、体力テストの結果に基づき継続的な取り組みを行う。また、授業の充実を図り体力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的、基本的な技能を定着、向上させるために個に応じた指導法を展開する。 競技の様子等をICTの機器で撮影し、技能を身に付けるため意見交換や思考する機会を増やす。 心身の健康保持増進のため、長距離走等を計画的、継続的に取り入れる。また、体力テスト等の結果を活かし、授業の充実を図り体力向上に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的、基本的な技能を活動ともに活用させる中で、個に行う。 種目に応じICT機器で撮影りに活かす。また、保健の授業器を活用し、必要な情報を交換を行う。 体力テストの結果に基づき、心身の健康と保持増進を的取り組みを行う。仲間との成感を味わわせ、授業の充実に努める。
技術	<ul style="list-style-type: none"> ICTを活用して授業を行う。スクリーンに実物投影機を使って実演、例示し、プリント等の解説を行う。 Chromebookを活用しウェブ上で双方向のプログラミング学習を進めていく。 PCのオーディオ、画像を使い授業の集力をあげる。 			

Ⅳ ・ 家庭科	・家庭学習の課題としてChromebookで写真を撮り、その写真を共有することで生徒同士が課題の理解を深める。			
総合的な学習の時間	・体験的な学びの中で、生徒自身による課題設定と振り返りを行う。自ら学んだ成果や過程を意味づけ、評価することを通し、次の学びに生かせるようにする。			
特別の教科 道徳	・問題解決的・体験的な学習を取り入れ、議論や発表などの活動を通して、多様な見方・考え方に接し自己の生き方について考えを深めさせ、道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育てる。			

各教科における課題を改善するための指導の重点				
	年度当初に設定した重点	第1学年	第2学年	第3学年
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒相互が協力し合い、(人間関係形成)、自らの役割(自己実現)や責任を遂行する活動等を意図的に計画し、自主・自立・自治を営む力の発達を促し、望ましい集団を育てるよう努める。 ・生徒が意欲的に参加し、達成感や成就感が得られる学校行事を実施する。 			

二中学校

--

--

ームや

提示を工夫

、比較・

--

--

--

内的見方や考 表現を行い、 けるために、 り効果的な もが見通 えを表現す る・単元全体 習場面を適 習ができるよ

--

教科書、スラ
容における生
互動を通じて
自己表現力の
オーマンステ
一人一人の



用し、仲間と
志じた指導を

を行い振り返
業でもICT機
集し意見交

運動量を確保
:行い、継続
り連携から達
長や体力向上

